ダウンロード・データあります

第5章 ステップ実行＆GUIでプログラム開発効率アップ！

定番Eclipseでトライ！Galileoデバッグ

三浦 俊宏

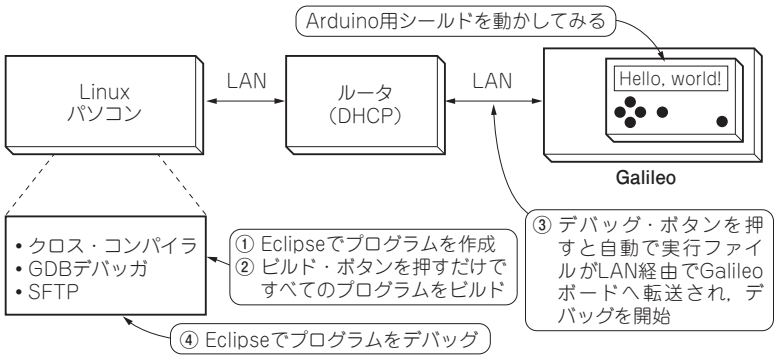

図1　定番の統合開発環境Eclipseでプログラムをビルド＆デバッグする

● プログラム開発の強い味方…統合開発環境でGalileoプログラミングにトライ！

本章では，定番の統合開発環境（IDE；Integrated Development Environment）を**図1**のようにGalileoで使う方法を紹介します．IDEは，無償，かつJavaが動作する環境であればどのOSでも動くEclipseを使用します．IDEの構築方法について，ステップ・バイ・ステップで説明します．

● 準備するもの

用意する機器を**表1**に，パソコンにインストールしたソフトウェアを**表2**に示します．

表1　Galileo × Eclipseの開発環境構築に必要なハードウェア

No	名　称
1	Galileo（インテル）
2	microSDカード（2Gバイト以上32Gバイト以下）
3	パソコン
4	LANルータ（DHCPを使用するため）
5	LANケーブル
6	16×2 LCDキーパッド・シールドDEV-11851（SparkFun）（Arduinoデバッグ用，なくてもお試しできる）

準備…開発環境構築の前に

IDEを構築する前に，使用するハードウェアやソフトウェアを入手し，Galileo上で動作するLinuxの準備をしておきます．

● 準備1：パソコン用Linux OSの準備

IDEは，パソコンのLinux OS上に構築します．パソコンのOSにWindowsを使用している場合は，VMware Playerなどの仮想マシンをインストールします．次のサイトからダウンロードします．

表2　Galileo × Eclipseの開発環境を構成するソフトウェア

No	ソフトウェア	動作確認バージョン
1	Microsoft Windows	Windows 7
2	VMware Player	6.0.1
3	Ubuntu（VMware上にインストール）	Release 12.04 64ビット Linuxカーネル 3.8.0
4	Arduino IDE	1.5.3
5	GDB	7.6.2
6	Java　(OpenJDK)	1.6.0.27
7	Eclipse（Eclipse IDE for C/C++ Developers）	Kepler Service Release 1
8	Yocto Project ADT Plug-in	1.4.0